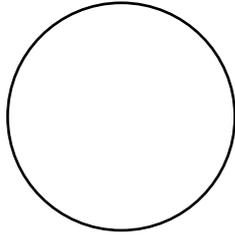
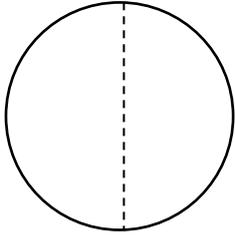
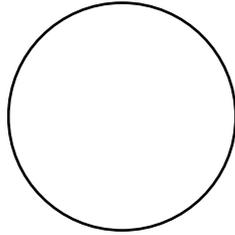
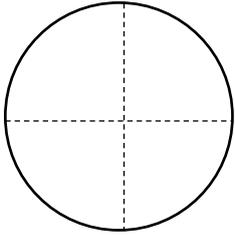


自作教具の活動事例

<p>【作品名】 ピザで分数</p>	<p>【学校名】 日上市立大沼小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 算数科・生活単元</p>	<p>【制作者名】 坂本 るみ</p>
<p>【制作の意図】 身近な物を学習に取り入れることで、分数を使用する場面の想像ができるようにした。また、児童が具体物を操作することで、よりイメージが膨らむようにした。</p>	<p>【使用方法】 「2分の1」では児童が実際にピザのイラストを半分、「4分の1」では4等分に切る。教師も一緒にピザのイラストを切り、同じように切ることができているのかを確認しながら進める。</p>
<p>【制作上の工夫】 フリーイラストを印刷したプリント用紙を画用紙に貼り付け、強度を高める。切るときに迷ってしまわないように画用紙の裏にカットラインを予め記入しておく。教師用は黒板に貼るために児童用より1周り大きく印刷をする。児童用→B4サイズの内紙に、教師用→A3サイズの内紙に。</p>	<p>【見取り図】</p> <p>表  裏 </p> <p> </p>
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 ピザのイラストを継続して使用することで、「4分の3」の学習など発展した問題にも苦手意識を持たず、楽しみながら学習に取り組むことができた。 食べ物を使用することで、日常的な場面の想像がしやすく、児童が主体的に楽しみながら学習に取り組んでいた。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 フリーイラスト プリント用紙 画用紙 マグネットシート はさみ</p>	<p>具体物を切る作業により、はさみの安全な使用方法を学べることから、生活単元学習とのつながりを持たせることができる。</p>